

平成29年度 成果報告会

革新的アカデミアシーズの実用化と患者・医療現場への貢献

2018年**3月5**日(月) 12:30～17:00(12:00開場)
3月6日(火) 9:30～17:00(9:00開場)

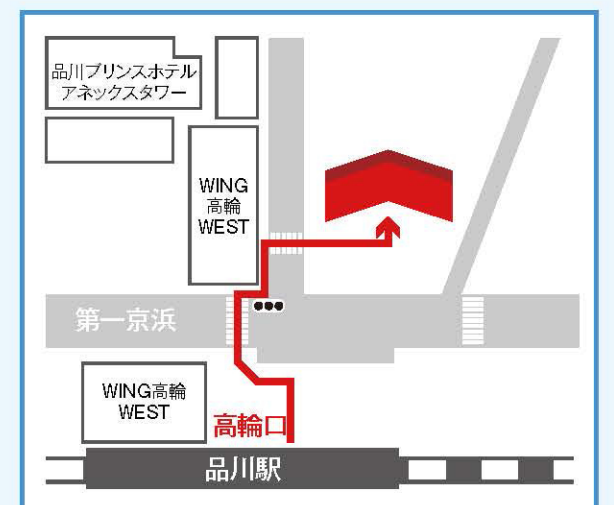
入場
無料

会場 TKPガーデンシティ品川 ボールルーム
東京都港区高輪3-13-3 SHINAGAWA GOOS 1F

お申し込み 申込フォームまたはFAX、E-mail、電話、郵送でお申し込み下さい。
<http://www.omc.co.jp/amedseika2017>

お問い合わせ 平成29年度成果報告会 運営事務局 (受付時間:月～金 9:30～18:00)
東京都新宿区四谷4-34-1 新宿御苑前アネックスビル
TEL:03-5362-0117 FAX:03-5362-0121 E-mail:amedseika2017@omc.co.jp

主催 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 臨床研究・治験基盤事業部 臨床研究課
東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞ビル21階 URL:<https://www.amed.go.jp/>



3月5日(月) 12:30～17:00

① 12:30～12:35 開会挨拶	革新的医療技術創出拠点プロジェクト プログラムディレクター 猿田 享男
② 12:35～12:45 AMED挨拶	日本医療研究開発機構 理事長 末 松 誠
③ 12:45～12:50 来賓挨拶	文部科学省研究振興局ライフサイエンス課 課長 永井 雅規
④ 12:50～13:20 医療研究開発をめぐる我が国の動向	
橋渡し研究戦略的推進プログラムについて	文部科学省研究振興局ライフサイエンス課 課長 永井 雅規
臨床研究法の施行に向けて	厚生労働省医政局研究開発振興課治験推進室 室長補佐 安水 大介
⑤ 13:20～14:20 実用化に向けたAMEDの取組み	
革新的医療技術創出拠点プロジェクトについて	日本医療研究開発機構 臨床研究・治験基盤事業部 創薬戦略部 部長 河野 典厚
導出戦略支援の構築について	日本医療研究開発機構 知的財産部 部長 岩谷 一臣
橋渡し戦略的推進プログラムの成果活用支援＝企業リエゾン＝	先端医療振興財団 臨床研究情報センター 事業開発部統括 企業リエゾン担当 山中 敦夫
14:20～15:20 休憩(ポスター展示:コアタイム)	

⑥ 15:20～17:00 アカデミアシーズの実用化に向けて(革新的医療技術創出拠点からの報告1)	座長: 革新的医療技術創出拠点プロジェクト プログラムスーパーバイザー 楠岡 英雄
川崎病の承認申請と実用化の支援について	千葉大学大学院医学研究院 公衆衛生学 教授 羽田 明 千葉大学医学部附属病院 臨床試験部 部長・教授 花岡 英紀
特発性血小板減少性紫斑病に対するリツキシマブ適応拡大～成功の秘訣～	慢性特発性血小板減少性紫斑病(ITP)に対するリツキシマブの有効性と安全性の検討を目的とした第Ⅲ相オープンラベル試験 埼玉医科大学病院 総合診療内科(血液) 教授 宮川 義隆 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター 特任助教 菊地 佳代子
国立成育医療研究センターのARO整備状況と開発シーズ	先天性骨系疾患に対する高純度間葉系幹細胞を用いた骨再生技術開発 前臨床・臨床試験を踏まえた、中枢神経症状を伴うライソゾーム病の遺伝子治療法開発 国立成育医療研究センター 臨床研究開発センター長 斉藤 和幸
大阪大学拠点における再生医療実用化戦略とその成果	重症心臓病に対する骨格筋芽細胞シート移植治療 大阪大学大学院医学系研究科 心臓血管外科学 教授 澤 芳 樹
健康寿命の延伸を目指した次世代医療・橋渡し研究拠点	先天性骨系疾患に対する高純度間葉系幹細胞を用いた骨再生技術開発 前臨床・臨床試験を踏まえた、中枢神経症状を伴うライソゾーム病の遺伝子治療法開発 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 研究科長 那須 保友 島根大学医学部小児科 教授 竹 谷 健 徳島大学大学院医歯薬学研究部創薬生命工学分野 教授 伊藤 孝司

※プログラムの内容は予告なく変更される場合があります。ご了承ください。
「●」はシーズ課題名です。

ポスター展示 3月5日(月) 12:30～17:00 コアタイム 14:35～15:20
3月6日(火) 9:30～16:00 コアタイム 14:30～15:15

[同時開催]平成29年度 AMED成果事業化のためのシーズ商談会(企業との個別商談会)

会場:同フロア内 問い合わせ先:medicalip@amed.go.jp(知的財産部)
※シーズ商談会への参加をご希望の方は、まずは問い合わせ先にご連絡ください。

3月6日(火) 9:30～17:00

① 9:30～9:35 来賓挨拶	厚生労働省医政局研究開発振興課 課長 森光 敬子
② 9:35～11:35 アカデミアシーズの実用化と関係者の連携	
座長: 革新的医療技術創出拠点プロジェクト プログラムスーパーバイザー 岩 崎 甫 難治性疾患実用化研究事業 プログラムオフィサー 福島 雅典	
名古屋市立大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 講師 讃岐 徹治	
京都府立医科大学 学長 竹 中 洋	
ノーベルファーマ株式会社 代表取締役社長 塩 村 仁	
医薬品医療機器総合機構 先駆け審査業務調整役・イノベーション実用化支援業務調整役 柴辻 正喜	
一般社団法人SDCP発声障害患者会 代表理事 田中 美穂	
パネルディスカッション	
11:35～12:35 休憩	
③ 12:35～14:15 アカデミアシーズの実用化に向けて(革新的医療技術創出拠点からの報告2)	座長: 革新的医療技術創出拠点プロジェクト プログラムオフィサー 稲 垣 治
産学官協働の成果による新規人工手関節の開発と臨床応用	北海道大学大学院医学研究院 教授 岩崎 倫政 北海道大学病院臨床研究開発センター 特任准教授 稲毛 富士郎
東北大学における革新的医療機器実用化に向けた実績と取り組み	難治性潰瘍を伴う強皮症、混合性結合組織病、全身性エリテマトーデスに対する低出力体外衝撃波治療法 ハイドロキシアパタイト厚膜形成による新規歯科治療システムの開発と臨床応用 東北大学病院臨床研究推進センター センター長 下川 宏明
つくばを中心とする地域の医療シーズの実用化支援と研究者育成の現状についてー医療用HALの実用化支援を含めてー	脳血管障害による片麻痺の下肢体幹運動能力改善効果を得るためのHAL医療用下肢タイプ(HAL-ML05)に関する医師主導治験 筑波大学つくば臨床医学研究開発機構長 荒川 義弘 筑波大学つくば臨床医学研究開発機構サイト管理ユニット長 鶴嶋 英雄
酸素飽和度イメージング内視鏡の開発と薬事審査に至るまでの取組み	低酸素イメージング内視鏡 国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 科長 矢野 友規 国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 医員 依田 雄介
「知の協創の世界拠点」を目指したTRの戦略的推進と展開	小児用体外式補助人工心臓装置の治験実施 東京大学医学部附属病院 副院長・研究支援部長 南学 正臣 東京大学医学部附属病院 心臓外科教授・医工連携部部長 小 野 稔

14:15～15:15 休憩(ポスター展示:コアタイム)	
④ 15:15～16:55 アカデミアシーズの実用化に向けて(革新的医療技術創出拠点からの報告3)	座長: 革新的医療技術創出拠点プロジェクト プログラムスーパーバイザー 岩 崎 甫
薬事承認・保険収載を目指したがん関連遺伝子パネル検査システム(NCCオンコパネル)の先進医療実施に向けた取り組み	ゲノム医療の実用化を目指した遺伝子パネル検査を含めた先進医療等の計画・実施に係る相談支援・連携体制の構築 国立がん研究センター研究所 ゲノム生物学研究分野 分野長 河野 隆志 国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援部門 研究企画推進部 部長 中村 健一
国立病院機構(NHO)で構築されるARO機能と国際共同研究におけるその活用	アジア国際共同臨床試験を通じたDS-ALLにおける標準治療の開発 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター長 堀部 敬三 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 再生医療研究部長 齋藤 俊樹
名古屋大学におけるシーズ実用化に向けての取り組み	手術ロボットシステム NUUデバイス 名古屋大学医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センター 副センター長 水野 正明
食道がんPDTの薬事承認から医療現場への普及、そして早期実用化のため拠点の取組	食道癌化学放射線療法後の局所再発再発例に対するタボルフィンナトリウムおよびPDT半導体レーザーを用いた光線力学的療法の開発 京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座 教授 武 藤 学 京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター 講師 伊藤 達也
九州大学発: 遺伝子治療の実用化・眼科手術剤の国際展開	プリリアントブルー G(BBG250)による内境界膜染色・剥離術 高性能国産新規RNAウイルスベクターによる虚血肢治療剤の開発 九州大学病院ARO次世代医療センター センター長 中西 洋一
⑤ 16:55～17:00 閉会挨拶	革新的医療技術創出拠点プロジェクト プログラムディレクター 猿田 享男